

陽の里

発行 平成18年7月20日



社会福祉法人 新生会
総合ケアセンター

サンビレッジ

No.92

テーマ

～住み慣れた地域で暮らしつつづけるために～



▲津村を利用してのクッキング

地域における福祉

大垣市津村町 安田勇雄氏

福祉とは、「社会の成員が等しく得るべき幸福」と国語辞典にあります。

福祉事業の要は「市町村社会福祉協議会」であり、その傘下の各地区社会協議会が地域の福祉活動を推進しているのが現状。具体的には児童民生委員や社会福祉推進委員のご尽力による高齢者対象のお世話、特に独居老人の方々への支援等があります。また、数年前に誕生した「ふれあい・いきいきサロン」と称して、「年をとっても明るく、健康で、楽しく過ごしたい」という高齢者の願いを実現するために、各町内でも活発な活動をしてられるところが増えてまいりました。

このような高齢化社会における福祉施策は、当然と言えば当然とも言えましょう。しかし、これらを支えているのは、地域の民間ボランティアであります。支援も限度は明白であります。ましてや年に数回の支援では、実際にお困りの方々にとって等しく得るべき幸福は、たぶん充分な満足はいただけないでしょう。

幸い今年度、介護保険法の下「地域密着型サービス」の事業として、「もやいの家・津村」が開設。地域住民にとって、誠にありがたいことでもあります。

地域密着型サービス「もやいの家・津村」開設

もやいの家 津村リーダー 玉城栄之助

サンビレッジ大垣「もやいの家・津村」は、高齢者福祉サービスを中心として地域で生活される方々にもご利用頂ける多機能なホームとして、大垣市津村町に開設いたしました。「もやいの家・津村」の“もやい”とは“もやいこ”で使う”といった表現があるように、住宅地の中にある1軒の家を地域の皆さんにお使いいただき、便利さと安心をお届けできればと考えております。

もやいの家・津村では通いのサービスが中心となりますが、特に決められた日課はありません。その日利用された方々の顔ぶれや体調、ご希望、天候に合わせて、昔話をしたり、散歩やドライブに出掛けたり、或いは絵手紙や木工作業に勤しんだり、介護支援が必要な方であっても心地良く、生活の主人公として過ごすことが出来るようサポートしてまいります。

また通いのサービスに加えて、宿泊サービスもご利用いただけます。

す。もやいの家・津村の環境に慣れた方を中心としながらも、冠婚葬祭などご家族の急な外出の際にもサポートいたします。

なじみの友人と わいわいがやがや

私たちは、もやいの家・津村を“必要な時に必要なだけ利用できる地域のサービス拠点”として位置付けています。介護を必要とされる方のみならず、地域に暮らすどなたでも気軽に立ち寄り、そこでは何気ない会話が飛び交い、人生経験豊富なお年寄りから次の世代への語らいがなされる。友人同士のお茶のみ場、地域の会合や交流、憩いの場としてご利用して頂くことで、賑やかな中にも、人と人の温かさに触れることが出来る場となるよう努めてまいります。

さて、介護が必要な状態になると介護保険サービスを利用することが出来ますが、そのことによりこれまで大切にしてきた地域での交

友関係が途絶えてしまつことが往々にしてあります。私たちは暮らし慣れた地域の中で本当に豊かに暮らしていくためには、専門的な支援に加えて、これまで培ってきた交友関係も大切であると考えています。そこで、もやいの家・津村では、要介護状態の方だけでなく、同時にお元気な方もご利用いただけるようなメニューをご用意いたしました。ご夫婦連れ立ってのご利用、友人同士のお茶のみ場としてご利用いただければと思います。

介護サービスを利用したいのだけど知り合いがいなくて不安な方、大きな施設は敷居が高くてなかなか足を踏み出せない方、友人同士でゆつくりと過ごしたいのど希望がえられる方等、まずは民家を使ったもやいの家・津村に足を運んでみませんか？

また「最近うちのおばあちゃん、家でボーっとしていることが多くて：何だか忘れっぽくなってきた」「何事にも根気がなくなってきた」、

宅で介護したいのだけど、どうしたら良いのか」等々、早期発見、早期治療と言われるように、どんなことでもお気軽にご相談下さい。もやいの家・津村では介護（予防）相談を承っている他、年間を通じて介護者教室、介護予防教室も計画しております。

最後に、花壇の手入れや利用される方との話し相手、またご自身の趣味活動（習字、生け花、音楽活動等）を生かしたボランティアの方も同時に募集しております。どうぞ、お気軽にお問い合わせください。

地域周辺を自転車で走り回っております。気づかれましたら、どうぞお声をかけて下さい。



▲もやいの家・津村とリーダー玉城



グループホーム 木もれびの家

五月三十日、毎年恒例の野点に参加しました。この会は木もれびのスタッフがお手前を習いに行っているお茶の教室の先生宅で、地域の方を招いて行われています。スタッフとの縁もあつて毎年参加、皆さんがとても楽しみにされている行事の一つです。香田先生宅の立派な庭園の風景を見ながら、凜とした姿でお茶を頂く姿が見られました。

着物を着た娘さん達を見て「きれいやね」と話し、若い頃を思い出す心穏やかなひとときとなりました。



サンビレッジ宮路(ちやぼぼ) デイサービスセンター

ちやぼぼのレクリエーションの一つの中にパターゴルフがあります。新緑の清々しいこの季節に、毎年参加希望者を集い、三・四回の企画を立てています。掛斐川町市場の粕川河川敷にあるパターゴルフ場にて二一〇円の入場料ですが、ちやぼぼのご利用者から多数の参加希望者が集います。以前はゲートボールの選手・審判だった方などおられ、その腕前を披露して頂いています。

トピックス



夏祭り

7月29日(土)
夕方5時半～
7時半まで

大津谷(明和義民)北駐車場

岐阜プラスオルケスター サマーコンサート・ききょう太鼓・よさこい踊り・ビアガーデン他出店あります。

生ビール(枝豆付)、各種ジュース、焼き鳥、フランクフルト、フライドポテト、かき氷、たこ焼きなど、お値打ち価格にてお待ちしております。ぜひ、ご賞味ください。お気軽にお越しください。



担当者: 実行委員長 小宮山
電話: 0585-45-0760
FAX: 0585-45-0761

当日、雨天で中止の場合は有線放送でお知らせします。

サンビレッジ 宮路



グループホーム もやいの家・泉

梅雨の晴れ間を見つけ、サンビレッジ宮路の梅畑に、梅の収穫に來ました。

「家にも梅の木があつて、棒でたたいては実を落としてよく拾ったよ」と懐かしそうに話して下さった96才の方も、収穫用に手入れされ、横に長く伸びた枝いっぱい実つた梅に「これはいい梅だよ」「こつちにもある、あつちもいっぱい、大豊作だね」と感嘆の声。収穫意欲がかきたてられ、思わず休憩を勧めるほど。見る見るうちに「かごいっぱいきれいな梅が収穫されました。グループホームに持ち帰り、梅酒に、梅の塩漬けにと変身、楽しい作業をしながらの梅談義に花が咲きました。慣れ親しんだ生活体験を再現することは、懐かしき良き時代を思い起こすと共に、蘇ってくる感覚や感情は生活を活性化し、張り合い、楽しみに繋がります。生活の一場面が回想法の援助になることを意識しながら、自然の実に感謝しつつ、生活を楽しむ知恵を利用者の方々に教わっております。

平成17年度 事例発表

優秀賞

「二人の人として見るケア」

～HIV感染者ケースから学ぶ～

バラ棟 木方 絵美

馬淵 規嘉

二席

男の隠れ家

～男性中心ユニットにおける
ケアの実際と可能性～

デイサービスセンターサンビレッジ新生苑

棚橋 兼太郎

三席

褥創処置の新しい取り組み

医療室 桑田 奈津子

努力賞

できることを活かす自助具・
福祉用具の選択

作業療法士 川瀬 勢津子

栄養ケア・マネジメントの第一歩

厨房 杉山 千智

重度身体障害者への寝かせ

きりにしないケアの取り組み

～平成14年からの実践を通じて～

カトリア棟 杉岡 徹哉

「さようなら」「ありがとう」の

声が届くような

～グループホームではじめてのターミナルケア～

グループホーム 弥生 立木 雅子

認知症の告知

在宅からグループホームへ

～私は一人で生活できる～

グループホーム 木もれびの家 小澤 美紀

その人らしさを支える支援

食欲低下者へのアプローチを通じて

チユリツ棟 国枝 光子

「認知症でも大丈夫」

在宅介護支援センター 伊藤 諭美

「ひとつ屋根の下で」

～いつまでも支えあつて～

グループホーム ちやほほ 横川 綾子

続・介護予防事業開始に向けて

デイサービスセンター ちやほほ 小宮山 潤

中等度認知症高齢者に対する

音楽療法の日常生活への影響

～介入群と非介入群を比較して～

アクティビティ 堀 敬子

経口維持加算者の現状

言語聴覚士 神谷 明子

暮らしの中の「食事」について

すずらん棟 佐藤 春奈

全職員接遇向上の取り組み

事務所 五十川 久美

障がい者を受け止める

～高齢者と障がい者が共に暮らすということ～

小規模多機能もやいの家 藤代 小川 敬子

認知症対象のユニットケアでの

介護職への心理的援助

臨床心理士 蒲生 紀子

平成17年度 専門委員会 研究結果発表

一席

◆生活レクリエーション委員会

生活レクリエーションを

根付かせる為に

二席

◆ターミナルケア委員会

各部署のターミナルケアに対する

意識の違いと今後の課題

三席

◆認知症ケア委員会

「強み」の継続援助

「強み」のソフトダウンとQOLの追求

評価委員会

評価の原点に戻り

サービスの質の向上を目指して

IT推進委員会

人の目をひくホームページの作成と

定期的な更新が

出来るシステム

作り

防災委員会

災害への意識向

上と災害に備

えた行動の向上

「研究会」と

現場をつなぐ



▲研究発表会

補助事業完了のお知らせ

このたび大垣市から、平成17年度補助金の交付を受け、左記の事業を完了いたしました。

ここに事業完了のご報告を申し上げますと共に、大垣市を始め、ご協力を賜りました関係各位に対し謹んで感謝の意を表します。

記

一、事業名 平成17年度

大垣市地域密着型介護サービス施設整備等補助事業

二、補助金額 サブライト型特別養護老人ホームの建設 四千万円

三、実施場所 岐阜県大垣市北方町 五丁目三十五番地 サンビレッジ大垣

四、完了年月日 平成17年三月十五日

社会福祉法人 新生会

理事長 石原 美智子

新しいデイサービスセンターへの寄附

福祉車両助成事業において日本財団よりダイハツムーヴ1台を寄与されました。

新しいデイサービスセンターサンビレッジ大垣にて地域福祉の向上に役立てます。

